



第623号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

委員長講習会 婦人会

婦人会(奥村とう子主任)は、6月30日、8年振りとなる委員長講習会を、婦人会本部ご了承の下、教務支庁会場と11か所の支部会場をオンラインでつなぎ開催した。

当日は、全道より大勢の委員長が、マイクロバスや乗用車に乗り合わせて教務支庁へ参集した。

はじめに奥村主任があいさつ。続いて婦人会本部委員・柏原櫻子先生による講話を拝聴した。

支部会場へは、YouTube配信を行い、遠く離れた地域でも同時に、親里の声を聞かせて頂くことができた。

講話終了後は、奥村主任を芯に、心を合わせて、支部会場参加者も共々、すわりづとめをつ

とめさせて頂いた。

委員長がそれぞれの徳分を生かして、教えを伝え広めるために、次代につなぐ、みちのだいとしての歩みを、今後どのようにかせるのかをしっかりと心に刻んだ講習会となった。

この講習会を初めて経験した委員長やスタッフもある中、あらためて婦人会本部の思いを聞かせて頂き、大勢の婦人会員がみちのだいとして邁進し、取り組む姿をおやさまに御覧いただく決意を胸にした。

(参加者：教務支庁会場220名、支部会場91名)



北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

おふでさきを学ぶ

布教部

布教部(内田誠司部長)は、7月2日、教務支庁を会場に第5回「おふでさきを学ぶ」を開催しました。

これまでオンライン形式で研修を行っていましたが、このたび本部長・上田嘉世先生をお呼びよりお招きして、初めてのリアル開催として実施されました。(受講者54名、内オンライン参加12名)

今回のテーマは「おふでさきから読み解く、をやの真意」。

上田先生は、おふでさきの言葉一つひとつに込められた親神様の思召を丁寧にもとめながら、私たちが日々の信仰生活やにをいがけ・おたすけの場面で、



上田嘉世 本部長



で、どのようにその真意を受け止め、実践へつなげていくべきかを分かりやすくお話しくださいました。

受講者は、先生の言葉の一つひとつに真剣に耳を傾けつつ、対面ならではの緊張感と温かさの中、原典を学ぶ喜びをあらためて感じる時間となりました。

質疑応答の時間では、それぞれが日頃抱いている疑問や課題に対して丁寧に回答いただき、より深くおふでさきの教えに親しむ機会となりました。

今回の学びを通して、私たちは「をやの真意」を自らの心に問い直し、教祖のひながたに沿って、さらに勇んでにをいがけ・おたすけへ歩み出す大切さを確認しました。

今後も布教部では、「おふでさき」を通して原点に立ち返り、一人ひとりが信仰の土台を固め、実践へとつなげていけるよう、継続して学びの場を設けてまいります。

(担当 藤野充普)

定例にをいがけ
やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、7月16日、10名の教友がグループに分かれて戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

蒸し暑い気候の中、30分ほど戸別訪問に歩いた参加者は、おさづけのお取次を御守護いただく場面にも恵まれ、勇み心溢れる時間となった。

振り返り際には、にをいがけや信仰に対する率直な思いを語り合い、同じ道を歩む仲間の声に励まされ、それぞれの帰路についた。



戸別訪問

緑化ひのきしん
青年会

青年会は7月5日、洞爺湖町との協力のもと、恒例の「洞爺湖緑化ひのきしん」を開催。全道より会員ら41名が参加した。

本活動は、洞爺湖町の理解と協力のもと毎年実施されており、地域とのつながりを深めるとともに、会員相互の交流やひのきしん実践の場とすることを目的としている。

開会式では、下道英明町長が挨拶し、長年継続されている活動への感謝を述べるとともに、今後も継続して開催されることへの期待を寄せた。

参加者は、さくらみらい公園の草刈り班と洞爺駅前歩道清掃班に分かれ、それぞれの活動場所でのひのきしんに取り組んだ。また、生活担当班は食事や休憩時の飲食を準備するなど、活動全体の運営を担った。

当日は北海道らしい爽やかな気候に恵まれ、参加者は各現場で汗を流した。昨年と同じ活動場所での実施となったことから、各班とも円滑に作業を進め、予定していた作業を終えた。

活動終了後には閉会式を行

い、洞爺湖町生活環境課の高橋謙介課長が活動への謝意を述べるとともに、来年度以降も継続して開催されることへの期待を寄せた。

その後は宿泊地のコミュニケーション、洞爺湖町役場職員も参加して交流を深めた。

岡田委員長は、開催にあたり支援した室蘭支部をはじめ、参加者や関係者への感謝を述べるとともに、「昨年40周年を機に、洞爺湖町との関係をより深めることができた。今後も年代や性別を問わず参加しやすい行事を目指し、活動を継続していきたい」と今後への抱負を語った。



洞爺駅前除草

福祉厚生部

—支部福祉担当者会議—

福祉厚生部(岡崎秀人部長)は、6月27日、教務支庁にて前期の支部福祉厚生部担当者会議を開催した。

事務局より年間活動について説明があり、続いて天理教障がい者協議会、献血、連盟(民生・保護司・教誨師)、里親、福祉募金、子ども食堂ネットワークの担当者から活動報告がされた。

また10月3日、教務支庁で福祉部が開催予定であると、改めて担当者へ周知をはかった。



その後、ねりあいでは、地域活動、子育て支援、更生支援の3つのテーマで分かれ、支部や個人の現状やこれまでの活動の情報共有がされ、有意義な意見交換の時間となった。最後に岡崎部長の挨拶で会議を終えた。

—里親推進研修会—

翌日の6月28日には、教務支庁にて、5年ぶりの里親推進研修会を開催し、23名が参加した。

はじめに奥村尚人教区長の開講挨拶。続いて北海道保健福祉部、子ども政策局、社会的養育係長の加賀千佳様より、里親制度の説明をしていただいた。

その後の感話で、近藤太一氏(奈井江分教会長)は、前会長御夫妻が里親の時代から多くの里子たちと過ごす中、自身も里親として登録。現在は、ファミリーホームとして活動をする中に、大きな節をお見せいただきながらも、子育てに奮闘する話しをされた。

北村貴久氏(羽幌分教会)は、現在4人の子育て真っ只中だが、教区福祉厚生部に籍を置く中で、多くの先輩里親さんから



での、胸が張り裂けそうな悲しい体験も含めて里親として取組む姿勢について熱弁くだされた。

また、最近始められた、自立援助ホーム(ラポート)と一時保護専用施設(パーチ)の開所式で、元里子の2名が、「当時は大変迷惑をかけました。今は社会人となり、杉江さんには大変お世話になりました。」と、大勢の人の前でお礼を言われ、とても嬉しかったことなども披露され、「里親は、大変なこともありますが、長いスパンで子どもたちのことを見守っていくことが大切です。今回の研修会を通して一人でも里親になっていただけたら、名古屋から出てきたかがあります。」と締めくくられた。

最後に、岡崎秀人福祉厚生部長の閉講挨拶で、自身が預かる里子からいただいた手紙を披露され、暖かな雰囲気の中、閉会となった。

先生も、ご両親の時代から里親をされており、多くの子どもたちと長年生活する中、これまでの里親生活を喜・怒・哀・楽と表現し、様々な道中を歩む中

(担当 尾留川雅道)

支部総会報告



●天塩支部(福井教之支部長)は、7月4日、道北分教会を会場に支部総会を開催、59名が参加。



●釧根支部(坂下寛幸支部長)は、6月28日、西幣舞分教会を会場に支部・婦人会合同総会を開催、50名が参加。

ままつぶの集い

婦人会

婦人会(奥村とう子主任)は、6月20日『立教189年ままつぶの集い』を穏やかな気候の下、教務支庁にて開催しました。(参加者6名、子供16名、託児・スタッフ18名、総計40名)

座りづとめの後、

婦人会常任委員が主任先生メツセージを代読し、

ままつぶに込められ

た親心を聴かせて頂きました。

落ち着いた雰囲気が始まった

ウォーミングアップで、すっ



した。

をお互いに語り合いま

から引き続きのトーク

タイムでは、さらにじっくり

話し合い、その後は親子でメッ

セージカードを手作りしまし

た。ちょうど父の日の前日と

あつて、お父さんお母さんに

と心を込めて作成し、お土産

として持ち帰って、今日の喜

びがカードと一緒に伝わって

くれたらと願いました。

今年も託児・準備・裏方に

青年会・学生会・女子青年・

付き添いなど沢山の方にご協

力を頂いたおかげさまで、無

事に開催させて頂くことがで

きました。

ままつぶの集いにご尽力頂

きました皆様、ありがとうございます。

(ままつぶお世話係)

新教会長さん紹介

(令和8年6月お運び)

十勝支部 帯里榮分教会(北陸)

奉告祭 9月19日



竹之内 晴子 氏 62歳

宗谷支部 稚内分教会(那美岐)

奉告祭 8月30日



五十嵐 航多 氏 30歳

ふせこむDAY

7月11日・12日の両日、教務支庁において、「ふせこむDAY」が行われ、18名が参加。11日は、9時に集合し、その後、全員でお願いづとめ。続いて、笹田道継主事が挨拶。

オリエンテーションでは、教

区祭の準備ひのきしんを機に、

庁舎に関わるひのきしんを「ふ

せこむDAY」として今後つ

とめさせていただきたい旨を伝

えた。

また、『教区祭のスローガン「もつと勇みしんじんを」の最



後の「じん」には、人材育成という意味合いも込められていて、教区を支えていく人材を、準備ひのきしんや様々なひのきしんの伏せ込みを通して、共に活動して育てさせていただこう」と山田道弘主事が話された。ひのきしんは、布団のカバー交換、ミシン・手縫いにて破れたカバーの補修、網戸洗い、各階ロビー、廊下、階段、大小会議室、窓掃除を行った。翌12日は、ひのきしんを昼まで行い、参拝後に解散となった。



次回は、8月15日 16日

コーラスフェスティバルに出演

教区合唱団

教区合唱団は、6月14日、札幌市教育文化会館で行われたコーラスフェスティバルに出演。

※HPで詳細が
閲覧できます



北海道教務支庁日誌抄

7月1日	青年会 Meets!
2日	支部長会議
4日	札幌中南支部例会
5日	青年会緑化ひのきしん
11日	ふせこむDAY(12日)
12日	会計部会議
16日	やまびこ会
18日	学生会例会(19日)
21日	教区長帰本
25日	合唱団練習
26日	学生会例会
26日	本部月次祭遥拝式
27日	学生会例会
28日	学生会例会
28日	教区長帰庁
28日	少年ひのきしん隊
28日	本部練成会(8/2)

計報

立教一八九年・令和8年

・遠藤静枝様 7月1日出直(98歳)

東千歳分教会前会長夫人(千恵広支部)